

事例

廃棄される使用済みりんご木箱を燃料とする 薪ストーブ導入による節電対策

事業者概要

株式会社マルジン・サンアップル

りんご 卸売業

- 代表者：葛西 万博 ■従業員数：81名 ■資本金：45百万円
- 住所：平川市町居南田170-6
- 事業：契約生産者や産地市場からりんごを仕入れ、仕分け・商品化し、台湾や香港をはじめとするアジア圏と日本全国の市場へ出荷している。卸売業務のほか、生産や加工への着手、新規就農希望者のためのりんご学校設立など、ビジョンを持って活動している。

取組内容

ジェットヒーターから薪ストーブへの転換

- ・専門家から、不良在庫である中古りんご箱を活用した暖房施設への切替に係る取組についてのアドバイスを受けた。
- ・従来の灯油式ジェットヒーターから最新の薪ストーブに更新した。
- ・外観の汚さから放置されているDランクの中古りんご箱を燃料に使用した。
- ・導入後、専門家による導入設備の効果確認等を行った。



廃棄待ちのりんご箱



導入した薪ストーブ

取組効果

光熱費等の削減・職場環境の改善

- ・灯油代分の光熱費を削減
- ⇒加えて
- ・中古りんご箱の廃棄物処分費の削減
 - ・一般事務系廃棄物の廃棄量削減に貢献
 - ・倉庫内のホコリの舞い上げや騒音の低減、空きスペースの拡大 → 労働環境の改善と生産性の向上
 - ・りんご産業全体のモデルケースとしての波及効果に期待

年間削減量・削減額（計画）

灯油：▲6,840円



▲752,400円